

数字で見る日立ソリューションズ

多様なステークホルダーの皆さまと、ともに歩みながら積み上げてきた確かな実績。それらを定量化したデータからわかる当社の“現在地”です。

従業員数 単独 5,049 名 連結 14,548 名	加入する社外団体数 120 団体 販売パートナー数 182 社 アライアンスパートナー(グローバル)数 145 社	お客さま数 5,896 社 ビジネスパートナー数 355 社 5,757 名
--	--	---

グループ会社数 **17**カ国 **26**拠点
国内**4**社 / 海外**8**社

※ 2025年3月末時点

未来へのアクション

社会課題を見つけ、未来を切り拓く日立ソリューションズの探求メディア「未来へのアクション」のなかからおすすめしたいトピックスをご紹介します。

Pick up!

パートナー探しの困難を乗り越え本社オフィスで始まったペットボトルの水平リサイクル

当社本社では、従業員参加型の仕組みづくりによるペットボトルの水平リサイクルに取り組んでいます。キャップ・ラベルを外したり飲み残りゼロを促すことで、水平リサイクルに適したペットボトルの回収率は27%から95%へ大幅改善しました。取り組みの裏側には、どのような工夫や挑戦があったのかを語り合いました。

企業のサステナビリティを支援するために強力なタッグを組む有限責任監査法人トーマツと日立ソリューションズ

CES 2026が示した「フィジカルAI元年」と企業戦略の転換点

ニュースリリース

News 01 AOKIホールディングスと日立ソリューションズ、DX戦略基盤における長期的パートナーシップを構築

News 02 AIエージェント活用による「設備管理向けナレッジ活用アプリケーション」を提供開始

News 03 当社と国内グループ会社が「健康経営優良法人2026」に認定

私たちと一緒に、未来をつくる仕事をしませんか？

FROM INSIDE
次代の課題を共につくる、未来の仲間たちへ

採用情報や従業員インタビューなど「採用サイト」で公開しています。

お問い合わせはこちらまで

TEL

担当者

みんなのSX

お客さまの未来と社会に新しい価値を吹き込む、日立ソリューションズ(以下、当社)のSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)。多様なステークホルダーとの協創を加速し、価値創出の連鎖で環境・社会・経済価値の向上をめざす取り組みを紹介します。

本紙は「サステナビリティサイト」の情報を抜粋しています。



くわしくはこちら



森田 英嗣

株式会社日立ソリューションズ 取締役社長

ピーター・D・ビーダーセン

特定非営利活動法人ネリス代表理事
学校法人大学院大学至善館教授
株式会社丸井グループ社外取締役
明治ホールディングス株式会社社外取締役
三菱電機株式会社社外取締役

#サステナビリティ経営

#組織変革

#グローバル

協創と
リフレーミングで描く
持続可能な未来

サステナビリティの推進と企業の成長を両立させるサステナビリティ経営。その実現に向けて、当社は組織変革を加速させています。従業員がお客さまやパートナーをはじめとするステークホルダーの皆さまとともに、幸福に、挑戦を楽しみながら社会全体のSXに貢献していくため、長年にわたり日本企業の環境・サステナビリティ戦略を支援してきたピーター・D・ビーダーセン氏と森田社長が、グローバルな視点で未来への展望を語り合いました。

社会課題が複雑化する中で、企業には利益と社会価値の両立が求められています。ピーダーセン氏は、従来の「トレード・オフ(二律背反)」の発想を転換し、相互に補完し合う「トレード・オン」の関係性を提唱しています。サステナビリティはコストではなく、企業の競争力や成長の源泉となり得るという視点です。当社でも、日立グループとして環境・幸福・経済成長が調和した「ハーモナイズドソサエティ」の実現をめざし、SXを経営課題として位置付け、事業活動そのものを社会価値創出につなげる取り組みを進めています。

また、ピーダーセン氏は、SX推進において「アンカリング」「自己変革力」「社会性」の重要性を示しています。当社でも、挑戦する風土と自己変革力を高めるため、SXを通じた従業員の挑戦を支える組織づくりを進め、ボトムアップとトップダウンを融合した価値創出と事業化支援の仕組みを整えています。今後はグローバルな協創を軸に、多様なステークホルダーと連携し社会課題の解決と価値創出を進めます。さらに、思考の前提となる枠組み(フレーム)そのものを見直した「リフレーミング」により既存の枠を超えた変革を促し、SXと経営の統合を加速しながら、持続可能な社会と企業価値向上をめざします。



くわしくはこちら

株式会社 日立ソリューションズ

https://www.hitachi-solutions.co.jp



#SDGs

#地域

#教育

Society

グループ一線でSXを社会に循環させる

社会貢献活動



Hitachi Solutions Europe

ブルガリア支店で寄付を募り、地域の福祉施設の子どもたちに3D映画鑑賞をプレゼントしました。



日立ソリューションズ、日立ソリューションズ東日本、日立ソリューションズ・クリエイト、日立ソリューションズ・テクノロジー

日立グループは「日立環境イノベーション2050」に基づき生態系保全活動を推進しており、デジタルシステム&サービスセクターでは里山、森林、海洋保全などに取り組んでいます。



くわしくはこちら



#ダイバーシティ

#プロフェッショナル

Person

SXをリードする

日立ソリューションズのプロフェッショナル



くわしくはこちら

AI技術の習得で
新たなキャリアを歩む

得意分野である生成AIの全社導入を推進する部署で業務に従事する山本は、大学卒業後、地方自治体での採用を勝ち取ったものの、ストレスから2週間で退職。発達障がいにより鬱が重なり退職を余儀なくされました。社会復帰をめざし、先端IT業界への就労移行を支援する事業所で1年間、AIや機械学習といった技術を習得。1カ月のインターン期間を経て当社に入社しました。能力や意欲が評価され、5年目には課のリーダーに抜擢。活躍の領域を広げています。

山本 元樹

株式会社日立ソリューションズ
業務革新統括本部
AIトランスフォーメーション推進本部
AX生産技術部培った技術力を、
患者家族会の活動にも活かす

大手通信企業のコンシューマー向けのサービス開発などで活躍する藤岡は、10年ほど前に、希少難病の一つで、進行性筋疾患である「ADSS1(エーディーエスエスワン)ミオパチー」と診断されています。下肢筋力の低下や、呼吸機能障がい、嚥下障がいなどを併発することが多く、発症率は100万人に1人と言われています。車いす生活になった現在でも、在宅勤務を中心に開発業務に従事。技術力を活かし、患者家族会のITを活用した活動拡大にも貢献しています。

藤岡 聡

株式会社日立ソリューションズ
スマートライフソリューション事業部
ライフイノベーション本部
通信サービス部 主任技師

Co-Creation

SXの核となる

お客さまとの協創の加速

#協創

#オンライン診療

JCOM株式会社

医療過疎のない社会を実現する 新しいオンライン診療のかたち

地域に根ざした放送通事業者として、暮らしに寄り添うさまざまなサービスを提供してきたJCOM株式会社(以下、JCOM)は、2021年に一部エリアから「JCOM オンライン診療」をスタートしました。その大きな特徴のひとつが、自宅のテレビからの利用が可能なこと。スマートフォンの操作に不慣れなシニア世代でも、使い慣れたリモコンで直感的に操作できるため、安心して診療を受けられます。当社では、JCOMの顧客管理・課金基盤の構築と保守管理を継続的に支援。

今回、サブスクリプションビジネスのサービス管理や顧客・契約管理、入金管理などをワンストップで担える当社ソリューション「BSSsymphony」を活用し、JCOMさまにとって初の試みとなる個人課金モデルの導入を、短期間で実現。その後も、マルチデバイス対応や「おくり受け取りサービス」といった新機能がリリースされ、シームレスな医療体験を提供するサービスとして進化を続けています。



くわしくはこちら

#DX

三菱ケミカル株式会社

「グリーン・スペシャリティ企業」をめざして、DX戦略パートナーとしてデジタル活用を推進を後押ししています。

#エンカルフード

CCCMKホールディングス株式会社

エンカルフードを、当たり前の選択肢に。共創とデータ活用でつくる、よりよい食と消費のかたちを推進しています。



2025年度のサステナビリティ経営

サステナビリティ経営の実践

サステナビリティ事業の拡大

環境・社会貢献活動の推進

コーポレートコミュニケーションの持続的な遂行

人的資本 経営の推進

人財の獲得・成長

- 人財獲得のさらなる強化
- DXケイパビリティ*の強化
- デジタル人財の育成、イノベーション創出支援
- 自律的な学び、アップスキリング、リスクリング
- シニア従業員の活躍促進

※ デジタルを活用するために、組織として持つべき能力

ボトムアップカルチャー醸成

- 経営幹部とのコミュニケーション
- 若年層のキャリア意識 向上
- スタートアップ創出を めざす全社プロジェクト
- 多様な視点・考えを活 かす人財活用、適材適所の配置
- 新事業創生、越境での コミュニケーション促進
- アジリティの高い職場 マネジメント

ワークエンゲージメントの向上

- 総実労働時間の縮減
- 健康経営
- 柔軟な勤務制度
- 心理的安全性のさらなる向上
- 安全・公正かつインクルーシブ就業環境整備

Check!

サステナビリティ
アクションブック
2025SXの実現に向けた
さまざまな取り組みを
まとめてご紹介しています。

くわしくはこちら

